

3. 先々月・先月の両園地探鳥会

①くろんど園地(3月) 暖かい日ざしに誘われたソメイヨシノが一気に咲き始めた日、ウグイスの法華経はひっきりなし、シジュウカラが各所でさえずり、ホオジロも何回か姿を見せた。更に、交野市で繁殖しているアオゲラの一声、ヤマドリ
のホロ打ちも聞けるなど、繁殖期が始まった鳥の華やかさを実感した。
一方冬鳥は北帰行の旅に出たらしく、ツグミ・シロハラ・ジョウビタキは各2羽、ビンズイ1羽と思いのほか少なく、ルリビタキ・カシラダカは見る事ができなかった。

②ほしだ園地(4月) お目当てのハヤブサはお立ち台と呼ばれている巣の入り口近くの石の上に立ってくれる大サービス、行き帰りとも観察できました。渡りの夏鳥もキビタキ・オオルリ・センダイムシクイが出た上、星のブランコへの下りではコサメビタキ2羽が動きまわるものの飛び去ることなくゆっくり観察でき、全員歓声を浴びました。



4. 日本野鳥の会大阪支部からのお知らせ

①北河内・定例探鳥会の(6月度)案内

鳥の世界は都市公園・山野・水辺とも、繁殖の真っ最中、ほしだ園地のハヤブサは巣立っている頃、シジュウカラ・エナガなど小鳥の子供たちが観察できます。

曜日	(月)	場所	集合時間・場	所
第1(日)	(6/7)	牧野(淀川)	9:00	京阪牧野駅穂谷川堤防
第2(日)	(6/14)	山田池公園	9:30	現地北入口駐車場
第3(土)	(6/20)	緑の文化園	9:00	JR学研都市線四条畷駅東口
第4(土)	(6/27)	ほしだ園地	9:30	京阪交野線私市駅前

②日本野鳥の会入会時の会費

会員区分 (内容)	おおぞら会員 (本部+支部)	赤い鳥会員 (支部のみ)	むくどり会員 (支部・1年間のみ)
年会費	7500円	3500円	1000円
入会金(初年度のみ)	1000円	1000円	—
会報 隔月刊(支部)	「むくどり通信」	「むくどり通信」	「むくどり通信」
月刊(本部)	「野鳥」	—	—

③探鳥会参加費 (探鳥会保険・資料代に充当)

会員100円、非会員200円、高校生以下は無料
(交野野鳥の会会員で、日本野鳥の会に未入会の方 200円お願いします。)

「ころんで痛いのは自分だけ、怪我しないよう自己管理」

府民の森“くろんど園地”探鳥会

(毎月第4土曜日 両園地通算第185回)

平成27(2015)年5月23日(土) 9:30~15:00
日本野鳥の会大阪支部 平軍二(090-6901-1425)・
友田武・神戸徹・田上信博・小田原正明・

1. 交野市の鳥シリーズ(44) アマサギ

今月は5月7日交野バードに配信された松村万知子さんのアマサギにしました。
くろんど園地・ほしだ園地でアマサギを見ることはできませんし、交野市での滞在は2日間だけだったので、今は見られません。



写真からは、田んぼを掘り起こすと、土の中から虫が出てくるため、トラクターから離れないアマサギの特徴が良くわかります。アマサギの他に、ケリ・ムクドリ・モズ・ハクセキレイなどいろんな鳥が、耕運機や牛馬、さらに草刈り人を追いかけるなど、人の生活に密着し共存しています。



アマサギの英名はCattle Egret(牛サギ)、洋の東西を問わず農耕牛を追いかける性質が発揮されているようです。
一方、和名は繁殖期になると写真のように「飴色≒橙色」になるため、「アメ色のサギ」→「アマサギ」となったそうです。

尚、漢字名で「亜麻鷺」と書かれることもあるが、「亜麻色」→
は黄色がかった淡い褐色であり、亜麻色の鷺とするとアマサギの色に合わないように思われます。

亜麻色 / あまいろ / Amairo

(右は亜麻色ですが、画面と印刷した色が異なるので、うまく出るでしょうか)

2. 探鳥会観察種チェックリスト

科名	種名	年月日	2015					科名	種名	年月日	2015				
			1	2	3	4	5				1	2	3	4	5
			く	ほ	く	ほ	く				く	ほ	く	ほ	く
		回数No	ろん	しだ	ろん	しだ	ろん	しだ	回数No	ろん	しだ	ろん	しだ	ろん	
			181	182	183	184	185			181	182	183	184	185	
キジ	ヤマドリ	4			1				ツバメ	342					
キジ	キジ	5							ツバメ	354					
カモ	ハクチョウSP	19							ツバメ	355	2				
カモ	オシドリ	24							ツバメ	356		1			
カモ	ヨシガモ	27	11		4				ツバメ	357					
カモ	ヒドリガモ	28							ツバメ	358	1	1	1		
カモ	マガモ	30							カワセミ	383		5		3	
カモ	カルガモ	32	7	5	2	4			キツツキ	390	8	3	11	7	
カモ	ハシビロガモ	34							キツツキ	393	1				
カモ	コガモ	38	1	5		3			キツツキ	397			1		
カイツブリ	カイツブリ	62							ハヤブサ	407		1		2	
ハト	キジバト	74	3	7	3	4			サンショウクイ	412					
ハト	アオバト	78	1						サンショウクイ	418					
ウ	カワウ	127	13	2					カササギヒタキ	420	3	1			
サギ	ゴイサギ	139							モズ	418					
サギ	ササゴイ	141							カラス	427					
サギ	アオサギ	144	1	1		1			カラス	435	2	2	2	2	
サギ	ダイサギ	146							カラス	438	11	4	10	8	
サギ	コサギ	148		1		1			カラス	438					
クイナ	バン	174							シジュウカラ	441					
クイナ	オオバン	175	4		2				シジュウカラ	442	5	1	6	1	
カッコウ	ホトトギス	185							シジュウカラ	443					
カッコウ	ツツドリ	187							シジュウカラ	445	4	5	11	6	
アマツバメ	アマツバメ	192							ツバメ	457			2	14	
アマツバメ	ヒメアマツバメ	193							ツバメ	459					
チドリ	ケリ	195							ツバメ	461				3	
チドリ	コチドリ	203							ヒヨドリ	463	16	19	13	8	
シギ	イソシギ	244				1			ウグイス	464	1	5	28	13	
ミサゴ	ミサゴ	339							ウグイス	465					
ツバメ	ハチクマ	340							エナガ	466	27	22	10	1	
									メボソムシクイ	477					

千里ニュータウン・夏の野草観察会：6月3日(水)

集合場所：9:30 阪急北千里駅(梅田駅・北浜駅から約30分)

終了予定：14時頃、現地北千里駅周辺

参加費：(会員)100円、(非会員)200円

内容：千里ニュータウンの空き地が年2回の草刈りを40年以上継続された結果、千里丘陵の原風景、田んぼの畦畔・ため池の堤防に見られたチガヤ草原となりました。ウツボグサ・ミヤコグサが群生しており、更に大阪府の絶滅危惧種ヤマサギソウが生育するようになりました。

お願い：カラー資料の過不足をなくしたいので、平宛に連絡ください。

科名	種名	年月日	2015					科名	種名	年月日	2015				
			1	2	3	4	5				1	2	3	4	5
			く	ほ	く	ほ	く				く	ほ	く	ほ	く
		回数No	ろん	しだ	ろん	しだ	ろん	しだ	回数No	ろん	しだ	ろん	しだ	ろん	
			181	182	183	184	185			180	181	183	184	185	
ムシクイ	エゾムシクイ	479							セキレイ	ピンズイ	580	1		1	1
ムシクイ	センダイムシクイ	480					7		アトリ	アトリ	586				
メジロ	メジロ	485	21	26	7	5			アトリ	カワラヒワ	587	1	2	1	6
ヨシキリ	オオヨシキリ	492							アトリ	マヒワ	588				
レンジャク	ヒレンジャク	501							アトリ	ベニマシコ	592	1			
ミソサザイ	ミソサザイ	504							アトリ	ウソ	599	4			
ムクドリ	ムクドリ	506		20		8			アトリ	シメ	600				
ムクドリ	コムクドリ	508							アトリ	イカル	602				
カワガラス	カワガラス	512							ホオジロ	ホオジロ	610	7	1	5	
ヒタキ	トラツグミ	514							ホオジロ	カシラダカ	617	25	3		
ヒタキ	マミチャジナイ	520							ホオジロ	ミヤマホオジロ	618	1			
ヒタキ	シロハラ	521	5	3	2				ホオジロ	アオジ	624	15	9	6	
ヒタキ	アカハラ	522							ホオジロ	クロジ	625	1			
ヒタキ	ツグミ	525	1	7	2				キジ	コジュケイ					
ヒタキ	コマドリ	530							ハト	カラハ(トハト)			15		1
ヒタキ	ルリビタキ	536	10	2					チドリ	ソウシチヨウ					
ヒタキ	ジョウビタキ	540	3	5	2										
ヒタキ	ノビタキ	542													
ヒタキ	イソヒヨドリ	549													
ヒタキ	エソビタキ	552													
ヒタキ	サメビタキ	553													
ヒタキ	コサメビタキ	554					2								
ヒタキ	キビタキ	558					3								
ヒタキ	オオルリ	561					1								
イワヒバリ	カヤクグリ	566													
スズメ	ニューナイスズ	568													
スズメ	スズメ	569	6	70	15	26									
セキレイ	キセキレイ	573	2	1	1	1									
セキレイ	ハクセキレイ	574	3	6	5										
セキレイ	セグロセキレイ	575	1	8	3										
観察種数合計			37	34	26	31									
個体数			228	270	149	151									
天候			晴	晴	晴	晴									
参加者			28	30	36	28									

大阪支部総会は今日5月23日の午後

今日午後、支部事務所のある NEXT21 で、大阪支部総会を開催します。探鳥会参加の皆さんにはご出席いただけませんが、元支部長岡本恭治氏の講演も予定されています。

日本野鳥の会 近畿ブロック会議2015 in大阪(ハヤブサづくし)

日時：5月30日(土)～31日(日) 本会議13:00～16:15

ハヤブサ観察会：5/30 10:00、5/31 6:00 and 8:00の3回

場所：泉大津市なぎさ町 ホテルサンルート関空

詳細：むくどり通信No.237号(2015May) P12でご確認ください

ほしだ園地では自然の崖で営巣しているハヤブサ、泉大津ではホテルのベランダを占有して繁殖しています。会議の後にハヤブサ講演会、またハヤブサ観察会が3回も企画されており、何れも参加自由です。

会場の都合上、平or大阪支部幹事 阪上氏090-2383-7204へ必ず連絡のこと